

新薬剤部長紹介

安全管理やスキルアップと併せて、効率化や薬局薬剤師との連携を推進

薬剤部 部長 田中 守

私は病院経営改善への寄与と医薬品安全体制のさらなる改善に取り組みます。2020年度に約1600件/月となる薬剤管理指導件数を200～300件/月増加する予定です。件数の増加に伴い、患者さんに関わる密度も増え、よりよい治療に繋がると考えています。また、業務におけるマンパワーの効率化を目指し、調剤室・注射室・製剤室・麻薬室等をセントラル部門として一元化しました。これにより業務のブラッシュアップと同時に人的資源に余裕ができ、その余力を新たな試みであるHiMEネットを活用した調剤薬局薬剤師の参画に投入します。薬局薬剤師から医師へのフィードバックの質向上や、調剤薬局と看護師、管理栄養士などの院内スタッフとの連携促進になると考えています。さらに、外来患者さんの中でも、吸入薬がうまく吸えない、自己注射がうまくできないなどのリスクを抱えた患者さんへのフォローアップに注力します。院内だけでなくかかりつけ薬局と連携することで、患者さんを中心・主体とした治療の実現を目指します。病気の主症状に対する薬物治療だけでなく、患者さんの抱える不安や困難についても関わりを進めていきます。

**PROFILE**

たなかまもる◎今治市出身、小・中・高は西条市の愛媛育ち。徳島文理大学薬学部薬学科卒業。医療薬学専門薬剤師、医療薬学指導薬剤師、医薬品情報専門薬剤師。愛媛大学附属高校、教育学部附属中学校・特別支援学校の学校薬剤師。2020年7月より現職。趣味は免疫力向上のためにジョギング。